

指定管理者評価票

年度	令和6年度
担当部署	福祉部 子育て応援課 保育・幼稚園係

1 公の施設

施設名称	瑞穂町立むさしの保育園		
所在地	東京都西多摩郡瑞穂町むさし野一丁目5番地		
施設概要	①敷地面積1,911.66㎡ ②建物面積741.45㎡（幼児棟497.44㎡、乳児棟244.01㎡） ③建物構造 鉄筋コンクリート造		
設置年月日及び経過年数（導入時）	平成18年4月1日	導入後	19 年経過

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	社会福祉法人高峰福祉会			
	所在地	東京都福生市加美平三丁目37番地13			
指定管理期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	選定方法	公募	利用料金制	導入
指定管理の目的及び求める効果	女性の社会進出や少子化対策などの面から保護者の要望が多様化しており、その実現を図っていく上で、民間活力の導入により、様々な保育ニーズに対し、柔軟に対応していきます。				
指定管理の業務内容	(1) 生活指導、保健衛生その他入園児の処遇に関する業務 (2) 施設、設備等の維持管理に関する業務 (3) 施設の衛生管理に関する業務 (4) その他町長が必要と認める業務				

3 施設の利用状況

(単位：日、人)

利用状況(量)を示す指標名	前指定末 令和2年度	指定期間中の実績				
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 11時間開所(実施日数)	293	293	293	293	293	
② 延長保育(利用人数)	753	160	68	67	247	
③ 産休明け保育	実施	実施	実施	実施	実施	
④ 障害児保育	2	3	2	3	2	
⑤ 一時保育(利用人数)	1	0	6	7	1	

4 指定管理者の収支状況

会計方式

発生主義

(単位：円)

		前指定末 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	指定管理料	172,169,430	168,387,080	171,920,975	173,627,800	176,737,718	
	利用料金収入	145,000	59,500	34,500	16,000	60,000	
	その他	27,152,609	4,285,009	34,561,973	4,054,203	3,522,199	
	計	199,467,039	172,731,589	206,517,448	177,698,003	180,319,917	
支出	支出	191,506,649	180,205,696	190,144,824	175,783,464	166,768,402	
	うち修繕費	1,183,000	664,000	266,603	999,209	854,900	
	うち人件費	167,206,368	156,529,551	164,334,380	147,955,644	139,977,622	
	その他	23,117,281	23,012,145	25,543,841	26,828,611	25,935,880	

5 今年度の変更点

施設管理・改修に関する こと	令和3年度	・砂場支柱補強及びパーゴラ設置 ・幼児棟保育室照明器具交換 ・ホール照明器具交換
	令和4年度	・幼児棟保育室照明器具交換 ・乳児棟中庭フェンス交換工事
	令和5年度	・幼児棟保育室照明器具交換 ・園庭遊具塗装 ・園内各所フェンス交換工事 ・園庭南側及び正門扉交換工事 ・緊急持出用倉庫の設置
	令和6年度	・幼児棟廊下照明器具交換 ・幼児棟事務室空調機交換 ・幼児棟ホール空調機交換 ・園庭イ チョウの木剪定
	令和7年度	
事務改善及び効率化等に 関すること	令和3年度	・特になし
	令和4年度	・特になし
	令和5年度	・特になし
	令和6年度	・特になし
	令和7年度	
利用状況に関する こと	令和3年度	・7月より認可定員の変更（120名から99名に変更）
	令和4年度	・特になし
	令和5年度	・特になし
	令和6年度	・特になし
	令和7年度	

6 経費比較（前指定末と指定後）

（単位：円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
算定	指定後	171,100,235	172,040,175	177,084,093	177,123,283	
	前指定末（令和2年度）	172,626,315	172,626,315	172,626,315	172,626,315	
	比較	-1,526,080	-586,140	4,457,778	4,496,968	
実経費	指定後	168,413,745	171,948,515	176,964,935	177,088,283	
	前指定末（令和2年度）	172,201,315	172,201,315	172,201,315	172,201,315	
	比較	-3,787,570	-252,800	4,763,620	4,886,968	

※実経費では、「町職員人件費」及び「物品提供金額」を除外

7 個別評価

評価ランク		評価内容
良い	5	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
やや良い	4	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
普通	3	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
やや悪い	2	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
悪い	1	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目		評価の着眼点	評価	管理者評価理由	評価	担当者評価理由
業務評価指標	協定書・仕様書で示した事項	協定書・仕様書で示した事項が適切に履行されているか。 ・条例で示した開館日数と実開館日数は適切か など	5	・協定書や仕様書に従い、町担当課ともその都度報告や相談、協議をしながら、利用者にとって安全で安心な保育園運営を滞りなく行うことに努めた。土曜日保育も利用者の都合に寄り添いながら、柔軟に対応し運営を進めた。	5	・各種行事も開催でき、問題なく保育園を運営できた。
	維持管理状態	維持管理の状態が適切か。など	3	・保育内容は子どもたちの日常生活を最優先とし、子どもたち主体の保育を心掛けながら、日々の保育や行事運営を行った。 ・施設全体の老朽化が否めない状況で、保育を進める上での安全性を最優先し、必要な箇所の修繕や維持管理を行うように努めた。軽微な修繕作業については、担当職員が行った。	4	・今年度は町による幼児棟看板修繕及び調理室鉄扉塗装修繕を実施した。 ・施設の老朽化がすすんでいるが、予算確保等の問題もあることから、町の財政部局と協議して検討したい。
インプット指標	行政資源投入量	指定管理料の増減の状況は。指定管理料は適正か など	2	・一年を通して、定員に満たない定員割れの状況が継続している。特に年度の前半は定員と在籍数の差が大きく、減収幅も大きい。柔軟な利用定員の変更や指定管理委託料での増収等、抜本的な見直しをお願いしたい。	4	・指定管理料の算定方法は、私立の園と同様に公定価格を用いて算定しているため、変更する予定はない。一方、定員と在籍数の差による減収は課題である。
	職員投入及び物品提供の状況	職員投入及び物品提供の状況は。 ・町職員の関与や提供物資等は適切か など	3	・職員配置に不備が出ないよう適宜確保に努めた。また、物品についても保育に支障がないよう適宜補充等を行った。 ・瑞穂町により、給食室裏鉄扉と職員通用口の看板修繕を行った。	5	・今年度は町による幼児棟看板修繕及び調理室鉄扉塗装修繕を実施した。 ・園からの報告に適切に対応した。
アウトプット指標	利用者数の状況（事業の活動量、活動実績）	事業計画どおりの利用状況になっているか。 ・利用者は事業計画どおりか（環境の変化など外部要因考慮） など 利用者の満足度を得られているか。 ・職員の接客態度、利用条件等は適切か など	3	・令和3年度より99名の認可定員となったが、一年を通して定員割れの状況が継続している。年間利用園児数もほぼ横ばいが続いている。 ・利用するお子さんや保護者の最善となるように保育を進めながら、利用者の要望にはできる範囲で応えられるように努めた。職員には保護者支援の重要性が共有できるよう、継続的な指導を行っている。	3	・在籍人数が恒常的に定員を下回っている。少子化の影響もあり、対策が必要である。
	施設の稼働状況（稼働日数・貸し出し日数）	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。 ・施設の設置目的を達成しているか など	5	・瑞穂町における保育ニーズに応えられるよう、利用者の状況を十分に踏まえつつ、柔軟な対応や保育を心掛け、実践するようにした。 ・園内の受け入れ態勢が可能な限り、様々なニーズに対応するよう努めた。	5	・入園を希望する児童に対し、柔軟な受け入れを行った。
	利用料収入の状況	事業計画どおりのサービスが提供されているか。 ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか。 ・営業努力の状況は認められるか など	4	・子どもたち主体の保育や行事の運営を念頭に、保育や行事内容の見直しを行い、新たな取り組みの実践も含めて、計画通りに進められた。 ・個別な配慮が必要な家庭やお子さんも、対応が可能な限り受け入れを進めた。土曜日保育等も柔軟な対応が取れるよう、個別に配慮している。	4	・各種事業を計画通り実施することができた。
業務収支	収支のバランスが適切か。 ・経営状況は安定しているか など	2	・定員により公定価格が決まり、かつ在籍数に応じた収入のため、定員割れの現状では大幅な減収となっている。支出を占める人件費も、法人内の規定では大きく、収支のバランスが悪い。現状では、常勤職員と非常勤職員の配置を工夫し、適材適所に人材を配置しながら、経営状況を少しでも安定させるように努めている。	3	・今年度の事業活動収支差額が2,000万円弱の黒字となった。要因としては、公定価格の増による運営費収入の増、配置の工夫による人件費の減があげられる。 ・延べ利用者数は9人増となったが、依然定員割れの状況が続いており、対策が必要である。	
アウトカム指標	利用者の利便性の改善	利用者の利便性向上のため、どのような努力をおこなっているか。 ・利用者の意向反映について、適切に改善策が講じられているか など	4	・利用者の利便性（家庭や仕事の都合等）と、お子さんたちの保育園での生活向上のバランスを取りながら、状況に応じた保育が行えるよう柔軟に対応している。 ・お子さんの体調不良時には様子を十分観察し、一律ではない個別対応を行う。	4	・土曜保育や朝夕の延長保育の実施など、保護者の利便性に寄与する取組を実施している。
	プログラム等質の改善	施設の活用や事業への創意工夫はどのようなことを行っているか。 など	5	・行事での保護者参加を促しつつ保護者の理解も得ながら行事の目的等を見直し、子どもたちが主体となる保育を大切にして保育を実践している。 ・園内の保育の様子が理解できるよう、写真掲示を増やしたり、幼児クラスでは保育参観を促している。また、開かれた保育園となるよう、保育所体験も実践した。	5	・感染症対策を行いながら各種行事もおおむね例年どおり開催できた。
	利用者の満足度の状況	モニタリング（利用者の満足度）はどのようなことをおこなっているか。など	4	・各行事や保育参観後にはアンケートを実施したり、個人面談や懇談会で保護者の意向を確認している。寄せられた要望にはできる範囲で応えられるように、保育の改善や職員間の共有に努めている。	4	・行事後のアンケート調査を実施し、その結果を反映できるよう努めている。
遵法検査	遵法検査の状況	法定検査及び必要な検査並びに東京都や町の監査は適切におこなわれているか。など	5	・法定検査や瑞穂町立ち入り調査は、適切に行われた。	5	・法定検査や瑞穂町立ち入り調査は適切に行われた。
総括	経費比較（前指定末と指定後における町支出の比較）	町職員の関与は適切か ・経費の状況は適正か。など	5	・経費等に係る町への報告、連絡等は、適宜行っている。	5	・前指定末と比較し、保育サービスの質を低下させることなく経費を削減できている。